

ひとなる

発行：白川町教育委員会

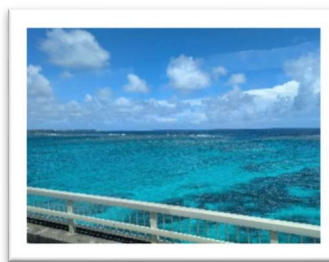
－「白川を愛し、たくましく心の

あったかい子を育む美濃白川」－

それぞれが志をもって取り組んだ 2025夏

<海山研修 in 宮古島>

小学生の希望者12名が7月22日（火）から24日（木）にかけて、沖縄県の宮古島に研修に行ってきました。この研修のねらいは、現地の小学生と交流して日常とは違った仲間との仲を深めること、白川とは違う文化や生活風土を身をもって体感（体験）することで視野や見識を広めたり深めたりすることです。具体的な活動としては、宮古島のきれいな風景を楽しむことはもちろん、「宮古島の水道システム見学（地下ダム）」「宮古島での星空観察（地平線が見える大パノラマ）」「宮古そば（チャーシューが大きい）」「海水浴やバナナボート」等を楽しみました。各地の見学では、一生懸命メモを取る姿やガイドさんに積極的に質問する姿がみられました。また、宮古島の子どもと一緒に見学や宿泊をすることで、最初はなかなか話すことのできなかつた子どもたちもお別れ時には名残惜しそうにしている姿が印象的でした。小学生の年代に、感動する出来事や仲間との関わりを深めることは、それ以降の心の在り様が変わり、行動にも多大な影響を与えることでしょう。参加した子どもたちが各学校においてこの経験を生かしてくれることを期待します。



<中学校総合体育大会の県大会以上の結果>

種目	結果
バレー男子 (NEXUS)	地区優勝 県2位 東海大会出場



<先生の研修 in 白川町内>

夏休みの期間中、児童生徒が家庭で普段できない学習に取り組んでいるように、先生たちも指導力向上のための様々な研修を行いました。福祉施設（白楽園、せせらぎ園、気楽園）や保育園に行ったり、町内めぐり（移住交流サポートセンター、東座、ピアチャーレ・ドローンパーク、美濃白川楽集館、佐見とうふ・ソイア等）をしたりしました。町内の文化やそれぞれの場で働く様々な方々と出会う中で、先生一人一人が、視野を広げることができました。同時に白川町の魅力を感じ、町を愛する気持ちを高めることもできました。今回の研修で学んだことは、2学期以降の学習や学校生活の中で生かしていきます。



9月の子どもたちの主な行事

9月10日（水）～12日（金）白川中 修学旅行 9月17日（水）～19日（金）黒川中 修学旅行
 9月24日（水）～25日（木）黒川中 職業体験 9月27日（土）黒川小 運動会 → 29日（月）振返休業日

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果より

令和7年4月17日に、小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が7月末に公開されました。調査は小学校、中学校ともに3教科（国語、算数（数学）、理科）と、児童生徒の生活や学習等に関わる質問紙調査でした。本年度の町全体の結果は全国平均と比較して以下の通りでした。 ※理科の調査は3年に1回となっています。

	国語	算数	理科
小学校	▲やや低い	□同程度	○高い
中学校	○高い	□同程度	◎極めて高い

以下に、調査結果を基に白川町の子どもたちについて分析します。

【小学校】

	国語	算数	理科
よくできている	○自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えること。 ○時間的な順序や事柄などを考えながら、内容の大体を捉えること。 →話の内容を大まかに捉えることが得意である。	○グラフや表から、示しているものの関係を読み取ること。 ○伴って変わる数量の関係に着目し、必要な数量を推測すること。 →数量の関係を見抜き、予測することが得意である。	○顕微鏡を操作する技能 ○事象の結果を基に、他の実験結果を予想すること。 →具体物を操作したり、実験結果から、他の事象を推察したりすることが得意である。
克服したい課題	▲目的や意図に応じて、伝える話題を決めたり、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝えあう内容を検討すること。 →筆者の考えを基に、自分の考えを文章や言葉で表現することが弱い。	▲理由を言葉や数を用いて記述すること。 ▲元にする量と比べる量の関係を理解し、適切に解答すること。 →5年生の「単位量当たりの大きさ（速さ、人口密度を含む）」の単元の学習が十分身に付いていない。理由を説明する力も弱い。	▲金属について電気が通るか、磁石に引き付けられるかを理解すること。 →該当単元の知識が確実に身に付いていない。

【中学校】

	国語	数学	理科
よくできている	○目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 ○文章を読み取り、登場人物の設定の仕方を捉えること。 →文章を正確に読み取り、内容を理解すること（県や全国と比較すると、読書量の多さが影響していることが考えられる）。	○確率についての理解。 ○証明された事柄を基に新たな関係を見いだすこと。 →推論したり、論理的に考えたりすることが得意である。	○電気回路についての知識が概念として身に付いている。 ○実験における器具の操作等に関する技能が身に付いている。 ○事象と日常生活と結び付けて考えることができる。 →基本的な事柄の理解、生活と結び付けて考える力が充実している。
克服したい課題	▲文脈に応じて漢字を正しく使うこと。 ▲自分の考えを分かりやすく伝えるように表現を工夫すること。 →相手に伝えるために、適切に語彙を活用する力や叙述を工夫（表現）する力が弱い。	▲数学的な言葉や定義の理解、数式が示している関係を理解したり、説明したりすること。 →表現されていることの意味や関係を理解し、分かりやすく説明する力が弱い。	▲土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討し表現すること。 →目に見えない事象に対して、創造力を働かせて思考していく力が弱い。

学校では、粘り強く問題に取り組んだり、仲間と問題を解決したりする活動に力を入れています。また、ICTを適切に活用して学習がより充実するようにしています。今後は、教科書の学習内容を身に付けることはもちろん、身に付けたことを基に、自分の考えを筋道立てて話したり、書いたり、表現したりできる授業をより一層充実させます。

【質問紙調査から】

先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか（小学校）（％）

	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
全国	55.3	36.9	5.8	1.9
岐阜県	54.6	37.4	6.0	1.8
白川町	71.4	28.6	0.0	0.0

平日の学習時間（中学校）（％）

	3h以上	2~3h	1~2h	30分~1h	0~30分	0時間
全国	9.9	20.9	30.8	19.1	11.3	7.7
岐阜県	11.8	23.1	32.5	18.7	8.7	4.9
白川町	0.0	4.9	41.5	19.5	12.2	22.0

朝食を毎日食べていますか（中学校）（％）

	食べている	どちらかといえば	あまり	全く
全国	78.7	12.5	6.0	2.6
岐阜県	80.3	11.9	5.5	2.2
白川町	63.4	24.4	7.3	4.9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（中学校）（％）

	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
全国	77.1	18.8	2.7	0.8
岐阜県	81.8	15.3	2.0	0.4
白川町	95.1	4.9	0.0	0.0

今回の調査において学力テストは全国平均と同程度の成績でした。質問紙からは、先生との関係性のよさや規範意識の高さも伺えます。課題としては、中学生の朝食の喫食状況、平日の学習時間です。特に中学生は、自己実現に向けて生活習慣と学習習慣を改善していくことが必要でしょう。